

2021 年度第 9 回道東ブロックカブスチャレンジリーグ U-13

開催要項

- 1 主 旨 日本サッカー界の将来を担うユース（15 歳以下）の選手たちのサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的とし、第 3 種年代の加盟チーム全てが参加できる大会として、本大会を実施する。この主旨を受けて、公益財団法人北海道サッカー協会として本大会を開催する。
- 2 名 称 2021 年度第 9 回道東ブロックカブスチャレンジリーグ U-13
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
- 4 主 管 道東ブロックカブスリーグ実行委員会、釧路地区サッカー協会、オホーツク地区サッカー協会、根室地区サッカー協会、一般社団法人十勝地区サッカー協会
- 5 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、北海道中学校体育連盟、開催地（市町村）教育委員会
- 6 期 日 第 1 節 5 月 2 日（日）～第 14 節 10 月 16 日（土）※別紙開催日程参照
※新型コロナウイルス感染症の感染・感染拡大防止のため、変更もあり得る。
- 7 会 場 基本的にセントラル開催方式とするが、新型コロナウイルス感染症の感染・感染拡大防止のため、2 会場に分かれての分散開催もあり得る。
※別紙開催日程参照
- 8 参加資格 (1) 本リーグ参加申込締切日までに（公財）日本サッカー協会に第 3 種登録した加盟チームであること。
(2) (1)項のチームに登録され、かつ、高円宮杯 JFAU-15 サッカーリーグ 2021 道東ブロックカブスリーグに参加するチームの中学 1 年生の選手であること。
(3) （公財）日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内のチーム間であれば移籍手続を行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第 4 種年代のみとし、同一クラブ内の第 4 種複数のチームから選手を参加させることも可能とする。第 3 種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
(4) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ（公財）日本サッカー協会の女子加盟チーム選手を、移籍手続を行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
(5) 本リーグは「合同チーム」の大会参加については認めない。
(6) 出場可能な選手が 11 名に充たない場合は、オーバーエージ選手を補充して出場させることを認める。ただし、出場させる選手は、同日開催の U-15 の試合に出場していない選手を優先させること。
(7) 第 15 回北海道カブスリーグ U-15、第 13 回道東ブロックカブスリーグ U15、U13、地区カブスリーグ U-15、U-13 について チームの同時出場を可能とする。ただし、引率・帯同審判の条件を満たすこと。
- 9 参加チーム S C 釧路 U-15、帯広市立南町中学校、N F C レグルス U-15、帯広フットボールクラブ、幕別札内 F C、音更町立緑南中学校、北海道コンサドーレ釧路 U-15 2nd、音更町立下音更中学校
- 10 競技規則 リーグ実施年度の（公財）日本サッカー協会競技規則による。ただし、以下の項目については本リーグ規定を定める。
(1) 自由な交代を認める。
(2) ベンチ入りできる人員は、交代要員を含めその試合に出場する選手とチーム役員 5 名までとする。
(3) 本リーグにおいて退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の大会規律委員会において決定する。但し、こ

の規定は全ての競技会に適用され、本リーグ次戦(以降)の出場停止処分が消化するまでは、下位リーグなど他大会にも出場できない。

(4) 本リーグ期間中に警告を3回受けた選手は、次の1試合に出場できない。但し、この規定は全ての競技会に適用され、本リーグ次戦の出場停止処分が消化するまでは、下位リーグなど他大会にも出場できない。

11 競技方法

(1) 参加チームによる2回戦制総当たりのリーグ戦方式とする。
(2) 試合時間は60分(30分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として10分とする。

(3) 順位の決定は次の順序により決定する。

①勝点(勝3点、引分1点、負0点)

②ゴールディファレンス

③総得点

④当該チームの対戦成績(勝敗)

⑤同総得点

⑥リーグ実行委員会による抽選

12 懲罰

(1) 本リーグは、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

(2) 大会規律委員会の委員長は実行委員長が兼任する。委員の人選については委員長に一任する。

(3) 本リーグ諸規定及び本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会において決定する。リーグ規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本リーグへの出場を停止する。

13 参加申込

参加チームは、以下の手続きを期日までに完了すること。

(1) 参加申込は、道東ブロックカブスリーグへの参加申し込みをもって、U-13への参加申し込みとみなす。

(2) 選手登録用紙の提出

①所定の用紙をE-mailで申込先Aに提出する。(上記書類は地区サッカー協会経由で(一社)十勝地区サッカー協会→(公財)北海道サッカー協会に送付される。)

②1年生の選手で11名に充たないチームは、オーバーエージ選手(U-14)の登録を認める。その場合、その選手が道東ブロックカブスリーグに登録している選手であっても良い。

③選手登録用紙に記載する背番号は、選手固有のものとする。

④提出期限:2021年4月22日(木) 16時まで

(3) 親権者同意書の提出

①郵送で申込先B①に送付する。

②提出期限:2021年4月22日(木)

(4) 大会参加料は徴収しない。

[申込先]

A 所属地区サッカー協会

B ①(公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

②(一社)十勝地区サッカー協会

〒080-0018 帯広市西8条南18丁目3-3 大西ビル2F

TEL/FAX 0155-21-6626

14 追加登録

選手の追加登録は所定の用紙を用い、所属地区サッカー協会を通じて(一社)十勝地区サッカー協会に申請すること。同時に、実行委員長にも直接同様の申請を行うこと。また、選手の移籍に伴う追加登録については移籍手続きを完了してから行うこと。追加登録の申請締め切りは各節の3日前16:00までとする。(※登録移動ウィンドウとは異なることに注意)

- 15 ユニフォーム
- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。
 - (2) 審判（黒色）と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。
 - (3) ユニフォームの色・背番号の参加申込以降の変更は認めない。
 - (4) シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。
 - (5) その他の事項については（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規程によるが、以下の内容については、従来のユニフォーム規程を緩和する
 - ①ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
 - ②アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用することが望ましい。
 - ③ユニフォームのモデルチェンジ等で、ラインやメーカーロゴの有無またはその大きさや位置、襟の形状などにおける微細な相違が認められるユニフォームを着用する選手が混在する場合は、その相違のすべてが解る写真データを、監督会議3日前までに、実行委員長宛送信すること。監督会議において、出場チームがその情報を共有することで、その混在を認めるが、新旧ユニフォームが完全に同色であること。
- 16 帯同審判員
- 本リーグは相互審判で行う。参加チームは（公財）日本サッカー協会認定審判員（4級以上）2名を必ず帯同させること（チーム役員も可）。
- 17 監督会議
- 日時：2021年4月18日（日） 12時30分から （予定）
 場所：音更町立下音更中学校会議室 音更町中鈴蘭南1丁目4番地
 ※新型コロナウイルス感染症対策として、Web会議に変更する場合もある。
- 18 負傷及び事故の責任
- リーグ期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うこととする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行う。
- 19 その他
- (1) 本リーグは実行委員会を組織し運営を行う。委員会は道東4地区サッカー協会第3種委員長及び参加チーム選出の実行委員（各1名）で構成し、実行委員長は道東ブロックユース部会第3種委員長が務める。
 - (2) 参加チームには運営当番を割り当てる。
 - (3) 出場チームは（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認できるものであること。
 *選手証とは、（公財）日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。選手証は、試合前にエントリー用紙と同時に大会本部に提出すること。
 - (4) 第1試合においては開始40分前、第2試合以降は前試合のハーフタイム時に、当該チーム監督はメンバー表3枚と選手証、ユニフォーム（明確に判断できる場合は不要）を持参し、担当審判・地区責任者（可能であれば）を加えて大会要項の確認と出場停止選手の確認、ユニフォームの色最終決定をマッチミーティングとして行う。
 - (5) 参加資格に違反したり、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本リーグへの出場を停止する。
 - (6) 開催要項に規定されていない事項については、リーグ実行委員会において協議の上決定する。
 - (7) 参加選手は、傷害保険に加入し、リーグでの傷害に対応すること。
 - (8) チーム関係者に新型コロナウイルス感染症の感染者が出た場合は、2週間当該チームの出場を自粛し、管轄保健所等の指示に従う。自粛期間中の当該チームの代替日程は設定せず、その試合は当該チームの0-5の不戦敗（相手チームの5-0の不戦勝）とする。両チームが当該チームの場合は0-0の引き分けとするが、勝ち点は0とする。本リーグ戦が長期中断・中止となった

場合は、最終的に全チーム7試合（総当たり1回戦）以上を消化し、全チームの消化試合数が同じ場合は、その時点での順位を有効とする。

- (9) 荒天・震災・雷等，不測の事態が発生した場合はリーグ実行委員会において協議の上，対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。ただし、試合開始後、荒天またはその他の理由により、試合が中止または中断した場合は、以下の通りとする。

①定刻に試合が開始できない、または、試合が中断した場合は、15分間を限度に待機し、試合の開始・再開または中止を、主審と会場運営責任者が協議のうえ決定する。

②試合開始ができなかった場合、または前半を終了することができなかった場合、当該試合は不成立とし、後日の再試合とする。前半途中で中断し再開できなかった場合、その時点での得点はすべて無効となる。

③前半途中で中断し試合を再開できなかった場合、中断前に警告・退場・退席処分等があった場合は、そのすべてを有効とする。

④前半が終了した後の中断後、試合を再開できない場合は、試合成立とする。

- (10) 参加申込用紙等に記載されている個人情報、大会運営の目的のためにのみ使用し、第三者に提供しない。また、個人情報は厳重に管理し、大会終了後、責任を持って破棄する。

- (11) 指導者が選手を引率する際の遵守事項

①選手の個々の権利、尊厳及び価値を尊重し、平等に扱うこと。

②選手の権利及び安全を最優先で扱うこと。

③身体に対する暴力行為を行わないこと。

④不適切な言葉を使用しないこと。

⑤身体に対する暴力行為や不適切な言葉の使用を放置しないこと。

上記事項に反する行為が行われた場合は、当該チーム・指導者・選手等に対し、大会役員（マッチウエルフェアオフィサー）により事情聴取が行われる場合がある。

20 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 本大会実施にあたっては、（公財）北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版を遵守し、関係者はチェックシートを都度会場運営責任者に提出することとする。ガイドラインにおいて、チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。

- (2) 監督は大会期間を通じて感染対策担当者を務める。感染対策責任者は実行委員長が務め、会場感染対策責任者は主管地区第3種委員長と会場運営責任者が務める。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、会場感染対策責任者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。ガイドラインにおいて、これらの担当者や責任者の擁立が不要となった際には、その通りとする。